

令和4年度第1回大曲地域協議会会議録

令和4年5月20日

大曲地域協議会

令和4年度第1回大曲地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■部長あいさつ	2
■協議	
(1) 会議録署名委員の指名	4
(2) 地域課題協議について	5
■報告	
(1) 令和3年度地域枠予算の活用実績について	14
(2) 令和4年度地域枠予算の活用状況について	14
■その他	15
■閉会	15
■署名	15

■日 時：令和4年5月20日（金）午後6時

■会 場：大仙市役所3階大会議室

■出席委員：10名

熊 谷 公、後 藤 仁美、根 田 朋子、佐々木 浩、佐藤 純也、
柴 田 裕子、須 田 忠夫、戸 嶋 真紀子、松 塚 孝治、三 浦 隆 吾

■欠席委員：4名

鎌 田 俊、佐 藤 芳 紀、生 田 目 マキ子、成 田 麗 子

■出席職員：6名

伊 藤 公 晃（企画部長） 山 信 田 恭 弘（地域活動応援課長）
高 橋 靖 弘（地域活動応援課主幹） 遠 藤 彩 希（地域活動応援課主幹）
三 浦 雄 （地域活動応援課副主幹） 佐 藤 洋 平（地域活動応援課主任）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 部長あいさつ
- 4 議 題
 - (1) 会議録署名委員の指名
 - (2) 地域課題協議について
- 5 報 告
 - (1) 令和3年度地域枠予算の活用実績について
 - (2) 令和4年度地域枠予算の活用状況について
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

(午後 6時 開会)

○事務局(高橋主幹)

本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

定刻になりましたのでただ今から、令和4年度第1回大曲地域協議会を始めさせていただきます。

初めに熊谷会長からご挨拶をお願いいたします。

○熊谷公会長 (以下、会長と表記)

皆様、おばんでございます。

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

令和4年度第1回大曲地域協議会ということで今年度も再び私の方、会長をさせていただきますことになりました。

コロナが流行してしばらく経ちまして、私が所属している大曲商工会議所青年部の方もなかなか思うような活動ができなくてしばらく経ちました。ただ先日記者発表がありました通り、今年度、夏の花火大会も開催されるということで、徐々にこの街も活気を取り戻しつつあると感じているところです。ただまだコロナウイルスは近いところでも流行している状態でありますので、皆様におかれましては感染にしっかり気をつけながら過ごしていただければと思います。今年度、限られた回数ではありますけれども、また皆様のお力をお借りしまして、活発な会にしたいと思っておりますので皆様どうかご協力をお願いしたいと思います。

それでは今日もどうかよろしく申し上げます。

○事務局(高橋主幹)

ありがとうございました。

続きまして、伊藤企画部長が挨拶を申し上げます。

○伊藤企画部長 (以下、企画部長と表記)

本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

この4月から企画部長を務めております伊藤と申します。どうかよろしく申し上げます。

毎年のことですがけれども、市の方では4月に人事異動がありまして、地域協議会を担当します地域活動応援課もメンバーが新しくなっております。こちらの方は後で紹介するというにさせていただきますと思います。

企画部、地域活動応援課が所属する企画部でございますけれども、今年度新たに若者チャレンジ推進室ということで部署の方を新設しております。報道等でご承知かと思いますが、

4月に大曲郵便局さんの向かい、フォー・シーズンの1階に若者チャレンジ推進室ということで事務所を設けさせていただきまして、そこで、「だいせん Labo」という形で設置、運営しております。若者のチャレンジ、それから地域課題の解決、そういった取り組みを応援するという総合的なサポートを行う部署でございます。どれだけ若い方が、ここに定着していただけるのかということ、それを期待しながら、若者チャレンジ推進室の方で頑張ってもらいたいということも今年度主な事業として抱えているところでございます。

さて皆様におかれましては昨年度、計画では4回、地域協議会を開催するということができなかったということでございます。ただ活発な意見が出たということをお伺っております。本日もそういう議論になることを期待しておりますのでどうかよろしくお願ひしたいと思います。

コロナの関係がどうしても切り離せないという中での開催ということでございますけれども、県内でも少なくなってきたとはいえ、まだまだ高止まりという状況でございます。3回目の接種も進んでいるという状況で、60歳以上あるいは18歳以上の基礎疾患を持った方ということで、4回目の接種も近々始まるという報道もされております。皆さま3回目はお打ちになったかとは思いますが、若い人も含めて早めの接種をして感染拡大の防止に努めていただきたいと思いますところでございます。いずれにしましても、まだまだ予断を許さないという状況でございます。県の警戒レベルも引き下げられましたし、それからマスクの着用に関して屋外では必要ないというような議論もございます。こうした中で今年度第1回目の会議を迎えられるということについて、ほっとしているというところでございます。

本日の協議ですけれども、昨年度から協議していただいている地域課題、このご協議のほか、地域枠予算の決算状況、これにつきましてもご報告させていただきたいと思っております。地域枠予算につきましては、なかなかコロナの影響でできなかった事業が多かったということですが、今年度は計画通りに行えるということを期待しているところでございます。

花火大会も再始動ということで行われる見通しですので、こちらの地域枠予算の方も順調に執行できればと思っております。

以上私からの挨拶とさせていただきますけれども、委員の皆様からは忌憚のない意見を頂戴いたしまして、活発でスピーディーなご協議となりますことをお願ひ申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

本日はどうかよろしくお願ひいたします。

○事務局(高橋主幹)

ここで職員の紹介を行いたいと思います。

山信田課長からお願ひいたします。

○事務局(山信田課長)

皆さん、おばんでございます。地域活動応援課の山信田でございます。今年度もよろしく
お願いいたします。

それでは私の方から職員を紹介をさせていただきます。

【地域活動応援課職員を紹介】

○事務局(高橋主幹)

それでは、会議に入ります前に資料の確認をさせていただきます。

【資料の確認】

次第

委員名簿・配席図

資料No. 1 令和3年度第2回グループ協議資料

資料No. 2 グループ協議シート(A・B)

資料No. 3 令和3年度第2回地域協議会会議録抜粋

資料No. 4 はなび・アム利用者アンケート調査結果

資料No. 5 大曲地域協議会における地域課題協議の今後の進め方(当日配布)

資料No. 6 令和3年度地域枠予算活用事業一覧

資料No. 7 令和4年度地域枠予算活用事業一覧

○事務局(高橋主幹)

それでは、このあとの進行については、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第
4項の規定により、熊谷会長にお願いします。

○会長

ありがとうございます。

それでは会議の方を開始したいと思います。本日は鎌田委員に成田委員から欠席の届け出
がされてまして、出席委員は12名となっております。

なお、佐藤委員と生田目委員は欠席の連絡はいただいてないので遅れていらっしゃる予定
です。(佐藤委員と生田目委員は欠席)

ですので、委員の2分の1以上の方が出席を予定しておりますので、会議が成立しているこ
とをご報告いたします。

それでは次第4の1、会議録署名委員を指名いたします。

会議録署名委員は後藤委員と柴田委員にお願いしたいと思います。

続きまして議題の2に移ります。

地域課題協議についてを議題といたします。

この議題につきましては、「地域住民の地域活動への参加」と「はなび・アムと周辺の取り組み」の2つのテーマを設けて、昨年度は2回の協議を重ねております。

5月に開催した第1回目では、それぞれのテーマについて具体的な対応策、誰が実施するのかまたどのような効果があるのかという部分をご協議いただきました。

そして11月に開催した第2回目では、第1回目の内容の確認と、さらに詰める部分、地域協議会としてどのように協力団体に働きかけるか、またその時期をいつ行うかについて協議してまいりました。

その中でAグループからご協議いただいております「地域住民の地域活動への参加」につきましては前回の協議で一定の方向性と具体的な取り組みが示されたところであります。

本日はこのテーマの協議内容について、委員の皆様全員から一旦ご確認をいただきたいと思っております。

次に、Bグループからご協議いただいております「はなび・アムと周辺の取り込み取り組み」につきましては、これまでの協議内容を再確認した上で、本日は取り組みの実施に向けた具体的な協議をしていきたいと思っております。

それでは協議に入る前に事務局から説明をお願いいたします。

○事務局(高橋主幹)

【資料に基づき説明】

○会長

はい、ありがとうございました。

長い説明になりましたので、皆さんから何かわからないこととか、何か思ったこと、ご意見とかあれば、一旦お伺いしますけれどもよろしいでしょうか。

無いようですので、このまま、ただ今の説明を踏まえまして協議を進めたいと思っております。

まず初めにAグループで前回までご協議いただいております「地域住民の地域活動への参加」につきまして、皆様から一旦またご意見をいただきたいと思っておりますけれども、いただいた資料を見て何か内容についてご意見とかある方いらっしゃいますでしょうか。

佐々木委員何かございますか。

○佐々木浩委員

この前私が発表させていただいたものですが、これに付け加えるとすると、いまこのコロナ禍の中で付け加えることは中々難しいので特に私の方からはありません。

○会長

ありがとうございます。

須田委員から何かございますか。

○須田忠夫委員

特にありません。

○会長

他に皆さん何かありませんか。よろしいでしょうか。

無いようですので、Aグループの方からご協議いただいております「地域住民の地域活動への参加」につきましては、大曲地域協議会全体の意見としてこの内容で進めさせていただきたいと思えます。

Aグループのこの後の進め方についてですけれども、最初に事務局からも説明ありましたけれども、事務局の方でこのシート内容を基にした提言書を作成したいと思います。

作成した提言書につきましては、各地区コミュニティ会議へ送付するとともに、各地区コミュニティ会議から選出されている委員の皆様からもこの結果を持ち帰っていただきまして、活動内容の紹介チラシの作成や交流会意見交換会の実施に結びつくよう、またご協力をお願いしたいと思えますので、皆様どうかよろしく願いいたします。

Aグループのこちら「地域住民の地域活動への参加」についてはこのような形で今後進めたいと思うんですけれども皆様よろしいでしょうか。

【賛同の声あり】

○会長

ありがとうございます。

それではこちらの方一旦締めさせていただきたいと思えます。

続きましてBグループの方の取り組みについて「はなび・アムと周辺の取り組み」について協議していきたいと思います。

はじめに、協議の進め方について最初に事務局からの進め方の案として説明がありましたけれども、具体的な取り組み内容を2つに分けてグループで協議するというものでありましたけれども、このグループ分けについて、一旦事務局案として【資料No.5】のとおり班分けをしていただいたんですが、本日、そのグループの通りにいたしますと、ご覧の通り7人と2人という状況ですので、もしよろしければ、A班の方からB班の方に2名か3名ぐらいなんですけれども移ってもよろしい方いらっしゃれば移動していただきたいんですがいかがでしょうか。いなければ私の方で指名いたしますけれども。指名してよろしいですか。

【賛同の声あり】

○会長

ではすいません。

後藤副会長と佐々木委員。

申し訳ありませんけれども、B班の方に移動していただいて、こちらの方の協議をお願いしたいと思います。

後で説明が終わりましてから移動をお願いしたいと思います。

では、これからこのメンバーで協議を進めていくわけですけれども、初めに事務局の方から物品を配布させていただきます。

○会長

すみません。物品配布している間に聞いていただきたいんですけれども、今回のグループ協議では、これまでの協議内容の確認、関連する機関団体の抽出、関連する機関団体と話し合う際の確認したい事項の検討、確認方法、場所や時間なども含めてですね。あと大曲地区から各地区への波及効果、連携なども含めて協議していただきたいと思います。それで今回もそれぞれ協議していただくにあたってグループ内で進行役と報告していただく方を決めてから協議に入っていただきたいと思います。

時間の方は30分ほど取りたいと思いますので、だいたい7時10分ぐらいまでを目安に進めていただければと思います。

それでは、協議の方開始してください。よろしくお願いします。

○事務局

すいません。ご協議中申し訳ございません。

先日はなび・アムを視察しまして、写真の方を何枚か写してまいりましたので、モニターの方に写しておりますのでご参考にさせていただければと思います。

【グループ協議】

○会長

そろそろお時間となりましたけれども、皆様よろしいでしょうか。

はいありがとうございます。

それではまず、Aグループの方から、ただいま協議いただいた内容についてご報告いただきたいと思います。

○三浦隆吾委員

はい、それではAグループから発表させてもらいます。

我々のグループとしては、周辺小売店の関連・連携と、あとは花火玉カーリングとチャレンジショップについて、もう少し深掘りをして話をさせてもらいました。

周辺小売店との連携として、休憩スポットとお土産、またはグッズを活用したらどうかというお話がありました。メリットとデメリットという点から見たときに、これを立ち上げることにより、まずそこに雇用が成り立つので、メリットとしてはいいんじゃないかということ。

デメリットとしては、その商売が成り立っていけるのかどうかという不安があるということです。

次に花火玉カーリングに関してですが、目的としては子供たちが楽しめるようにしたいという場所とその環境ですね。

まずは、花火玉カーリングっていうのを知っていただくためにも、子どもの親、もしくは大人か地域の大人の人たちがどんなことをして、どういうふうに行っているのかっていうのを周知していただいた方がいいと思っています。

それを知ることによって、もっとたくさんの人を呼び込めたりする環境になっていくんじゃないかなと思います。

ちょっとCMになりますが、花火玉カーリングをFMはなびのヒカリオ広場で行う商工会議所祭りの中で行います。明日の10時から2時までやっておりますので、今日いらっしゃってる方は全員来ていただいて、花火玉カーリングがどんなものかというのを

まずは見てもらうところからスタートできたらいいかなと思いますので明日必ず来てください。

はなび・アムの別館に常設することにより、お子様連れの方たちが遊べるような環境を作っていけるような取り組みをしていけたら、きっと成功するんじゃないかという話になりました。

そしてそれに対してのネガティブな要因としては、常設するためにはやはり人員が必要で人手が必要という話が出ました。

次にチャレンジショップについてですけれども、大曲駅からはなび・アム周辺の大町地域までの区域にチャレンジショップを設立して、トライアルな形で、何かお店をやりたい若手の人たちをサポートしながらやっていけるような環境を整えれば、きっと活性化されるのではないかという話をしました。

そして先ほど話がありましたけれども「だいせんLabo」さんへその辺の相談をしてみても、どのような需要があり、どういうふうな相談があるのかを共有させてもらい確認できたらいいかなと思います。

そして「だいせんLabo」さんに、例えば相談しに来てる若手の人が出て、そういう人たちにこのチャレンジショップをマッチングをさせることにより、ずっと継続的にやるよりは、トライアルで1回出してみるというチャレンジ、攻めるというような環境を整えたらいいのではないかと営業してみたらどうかという話が出ました。

それで大仙市からのそういうバックアップがあるということなので、オープンまではこぎつけるとしても、果たしてそれが継続的にちゃんとやっていけるのかということところがちょっと懸念材料としてあるという話になりました。

Aグループからは以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。

ただいまのAグループの発表に関しまして、ご意見、ご質問ある方いらっしゃいますでしょうか。

はい、戸嶋委員。

○戸嶋真紀子委員

Bグループでも出たお話もあって、やっぱり課題と考えることは、共通してる部分があるなと思いました。継続についての話がありましたが、一歩踏み出すことが大事だからいいのかなと思います。

進んでいけば何かきっとまた見えてくると思うのですごくいいなと思います。

○会長

はい、ありがとうございました。
では、後藤委員。

○後藤仁美委員

花火玉カーリングって結局ルールって今どんな感じなんですかですね。

○三浦隆吾委員

まだルール決まってないんです実は。決まってないというか、いかようにもできる
という言い方ですかね。個人としてもやれるし、チームとしてもやれるし。

○松塚孝治委員

あの体育館でやっているユニカールと同じものですか。

○三浦隆吾委員

すいません。ユニカールがちょっとわからないんですけど。

○松塚孝治委員

スリッパ立てみたいなのを投げるゲームです。

○後藤仁美委員

花火玉カーリングができてから、2、3年経ちますよね。その頃からルールってちょっとぼやっとしてて、実際にあんまり難しくはないけれども、きちっとしたルールがあった方がやる側としては燃えるかなって思います。やっぱりきちっとしたルールがないと、なんとなく投げて、はいこんなもんかで終わってしまうと思うので、次回に続けるためにもルールがあった方がいいと思う。その方が実際にもし常設が決まったときに通り詰める人が出てくるかなと。太鼓を叩くゲームとかでもそうじゃないですか。何かすごい人が来たみたいな。そういう人が最高記録みたいな。はなび・アムの平日の夕方になればいるんだよなあの人、みたいな人が現れるとおもしろい。

そのような感じがあれば盛り上がるかなと思いました。

○三浦隆吾委員

ありがとうございます。そうですね。ぜひちょっと明日皆さん来ていただいて、実際に投げさせていただいて、なるほどこんな感じかとか、こういうふうになればいいんじゃないかっていう意見を次に聞けたらいいかなと思います。

ありがとうございます。

○会長

はい、ありがとうございます。他に何かある方いらっしゃいますか。

じゃあちょっと私からですけど「だいせんLabo」についてなんですけれども、もし分かればいいんですけど、「だいせんLabo」は非常にいい取り組みと思うんですけども、現状どれだけの実績があるのか。参加してる方がどれだけいて、具体的にこういうのに呼び込めるような状態にあるのかどうかという部分。取り組みとしては耳には入ってるんですけども、実際どうなのかなということが分かれば、ちょっとお伺いしたいと思います。

○企画部長

そうすれば私の方から「だいせんLabo」についてお話させていただきます。いまお話ありました実績、件数ということですが、これについては、いま何件と正式に言えるものは材料として用意してございません。

ただ、お1人お1人といいますか、1人の方から複数回連絡やご相談があったり、ギャザーと呼ばれるスペースは1人でも使えますし複数人でも使えますので、そういった利用についてのお問い合わせ等も実際はございます。

ただ具体的に進んでるものはまだ無くてお声掛けをしているという状況だと報告は受けております。開設してまだ1ヶ月というところですけども、これからというふうに思っておりますので、報告できるような材料が揃いましたら、皆様の方にお伝えしたいと思いますのでご了解いただきたいと思います。

○会長

ありがとうございます。

非常に良い取り組みではありますし、我々のこういうのにわりと直結できるような

部分もあると思いますので、また今後とも情報をいただければと思います。

他にAグループ発表について何かある方いらっしゃいませんか。他になければ、以上でAグループの発表を閉じたいと思います。Aグループの皆さんありがとうございました。

では続きましてBグループの方ご用意をお願いいたします。

○後藤仁美委員

それではBグループの発表をします。

まず「地域の案内人」についてなんですが、観光物産協会のおもてなしマイスターは数年前に募集したってということなので、当時、おもてなしマイスターだった方も再度レクチャーをしてリスタートが必要なんではないかという意見が出ました。

あと「小中学生におけるはなび・アムの活用」についてなんですけれども、小中学生の修学旅行生に向けての解説資料があったらいいんじゃないかということで、わかりやすい資料が欲しいというところから、文章ばかりよりであれば、例えばイヤホンガイドとかQRコードをかざすと浮き出て見えてくるとか、そういったものの方が小中学生はわかりやすいんじゃないかという話が出ました。

観光客には有料で子供たちは無料とか、あと、その声が有名人による声だったらお子様は喜んでくれるんじゃないかなという話が出ました。

このARとかQRコードは街中でも活用できるんじゃないかなって、花火通り商店街を通るにぎわい活性化に繋がるんじゃないかなっていう話にも出ました。

あと、はなび・アムの中に、チームラボさんって、多分皆さんもご存知かと思いますが、そういった方のイベントプロデュースで、もうちょっと盛り上げると、ファミリー層に受けるんじゃないかという話も出ました。

あとはその他なんですけど、ちょっとこれ難しいかもしれないですが、はなび・アムのアンケート結果を見ると、やっぱりカフェとか休憩できる場所が欲しいってところが多かったんですが、実際に小さいお子さんと、カフェに入ってコーヒーが飲みたいわけじゃないと思うんですね。

だからちょっと休めるような休憩場所を常設するだけでもいいんじゃないかという話になりました。

はなび・アムに、小学生以下の小さいお子様がいることができる休憩スペース兼遊び場みたいなところがあったり、そこに遊具があったりすることが来場者の多くの人たちが望んでいるようなので、常設したらいいかなっていう話になりました。

車で来場される方が74%っていうことだったんですけど、あえて例えば大曲駅の方に車を停めて、はなび・アムまで行くプロセスが欲しいなっていうところなんですけど、こういうQRコードとかそういうものを使って、あとYouTubeを撮ったりとかして

映像を流して誘導できたらいいなという意見も出ました。

はなび・アムから少し離れて、空き家を利活用してカフェを作ったときに、はなび・アムとそのカフェの動線がちょっと難しいかもしれない。土日だけでも、例えばそこを運行している何か小さな乗り物があったりしたらどうか。

観光場所だとそういうのがあるよねって。それとあとこれは大曲全体なんですけど、商店街付近に乗り回しできるように乗り捨て可能な電動バイク、これ結構、関東の方でそういうのを置いてるっていう場所何かあると思うんですけど、そういうのが花火通り商店街にあってもいいのかなと思います。

「大曲の偉人」については、そうですね、偉人トランプ。トランプって意外とやっていると暇になるじゃないですか。そういうときにちょっと説明でこういう人なんだとわかるようなトランプがあってもいいかなっていう話が出ました。

偉人に関しては、地元企業の協賛を集めて興味を持ってもらって、もっとアピールできたらという意見も出ました。

偉人を漫画とか動画にして、有名な方に演じてもらったりとかして紹介できればいいなという意見が出ました。以上です。

○会長

はい、ありがとうございます。

ただいま、Bグループ発表ありましたけれどもこの発表についてご意見とか感想あればお願いしたいと思うんですけども。

はい、根田委員。

○根田朋子委員

とても興味深く聞いてました。いろんな意見があったんだなと思って。

その中でも電動バイクっていうのがすごく面白いなと思います。ただ電動バイクだとなかなか使う方が大変だと思うので、ハワイとかいろんな観光地でいま自転車とか乗り捨て可能なものとかあるって聞いたので、そういうのも使ったらどうかと思いました。さっきアンケートの中でも車で来場される方が70何%で、ほぼほぼはなび・アム直接来ている感じになっている。駅から商店街は一方通行になるので、そこを通過してほしいところがあるので、そういう意味では自転車とか電動バイクとかを活用するというのはすごくいい案だなと思って興味深く聞いてました。

あとはARやイヤホンガイドなどを使って行うことに、なるほどと思いましたし、もともと前にそういう話が出たときに、案内してくれる人がいればいいねって言ったんだけど、やっぱりこのコロナの状況もあるので、そういう意味では、もし万が一のことを考えると、長く使えるイヤホンガイドとかARというのはこれからのことを考え

るといいのかなと思いました。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。

よろしいですか。はい、三浦委員。

○三浦隆吾委員

先ほどあの偉人カード、偉人トランプカードがものすごくいいなと思います。子供向けの環境に優しい紙を使ったしりとりビンゴというのがあるんですけど、そういうところとコラボできたらいいと思う。なんかすごい方達を知る情報とか、顔写真の情報と何かした人とか、いつからいつまでの人とか、そういうのを組み合わせたり、何かできるようなゲーム的なものはトランプとはまたちょっと違うんですけども、その偉人の情報を学べるみたいなカードがあれば良いと思う。何かそういう環境に優しい紙で作るみたいなことができたらいいなと思いました。

○会長

ありがとうございます。ほかに何かある方いらっしゃいますでしょうか。

無いようですので、以上でBグループの方の発表を閉じたいと思います。

Bグループの皆さんありがとうございました。

Aグループ、Bグループ含めて何か言い残したこととかある方いらっしゃればお願いしたいと思うんですけども。

無いようですので、この件の協議については終了したいと思います。

せっかくはなび・アムについて協議してますので、次回以降、もしスケジュールと会場の都合が合えば、はなび・アムで開会したいと思いますので、その辺は事務局さんの方から都合つけていただいてお願いしたいと思います。

では、次に次第5の報告1の方に移りたいと思います。地域枠予算の令和3年度の活用実績と令和4年度の活用状況について事務局より説明をお願いいたします。

○事務局(遠藤主幹)

【資料に基づき説明】

令和3年度の活用実績と令和4年度の活用状況について概要を報告。

○会長

はい、ありがとうございました。

ただいま事務局からご報告がありましたけれども、皆さんからこの件について何かある方はいらっしゃいますでしょうか。

無いようですので、次第5の報告を終了いたします。本日の議題については以上であります。

続きまして次第6その他に移ります。

皆様から何かある方いらっしゃいますでしょうか。

無いようですので次回開催について事務局の方からお願いします。

○事務局(高橋主幹)

次回の日程は7月頃に、はなび・アムで開催予定であることを説明。

○会長

事務局からありました通り次回開催についてはまた後ほど皆様にご連絡したいと思います。

以上で本日の会議は全て終了いたしますので会議を閉じさせていただきたいと思えます。皆さん長時間にわたりご苦勞様でした。

(午後 8時 00分 閉会)

大曲地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

